

科学研究費補助金（特別推進研究）研究進捗評価結果

課題番号	17002004	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	マイクロK温度領域における量子臨界現象の研究		
研究代表者名 (所属・職)	鈴木 治彦（金沢大学・自然科学研究科・特任教授）		

【平成20年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

本研究課題は、ケルビンからマイクロケルビンまでの広い温度領域を探求できる新規実験装置を製作し、それを用いて量子臨界現象の研究を行うことを目的としている。既に世界最低温度を実現して、強電子相関係や³He超流動系で、量子相転移と思われる現象を見つけており、グループ間の緊密な連携をとりながら研究が順調に進んでいることから、期待通りの成果が見込まれると判断される。今後は理論家とも緊密な連携をとることにより、これまでに見出した臨界現象の物理的起源を明らかにすることが望まれる。

【平成22年度 研究進捗評価結果に対する検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。